

■一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の目標(目安)について

1. 目標とする項目
 ①1人1日当たりの家庭系ごみ量 …… 現計画の目標値に集団回収量を含む
 ※ごみ全体の発生抑制という観点から目標値に含めます。
 ②1人1日当たりの事業系ごみ量 …… 現計画と同じ
 ③1人1日当たりのごみの埋立(最終)処分量 …… 現計画の「リサイクル率」を変更
 ※2Rのさらなる推進と環境負荷の低減を踏まえ新たに設定。

2. 目標設定の目安
 ・①～③に関連し、クリーンセンターの処理能力および大阪湾フェニックスへの搬入計画量を考慮する必要があります。
 ・計画の終期である令和14年度の①～③について積算しました。

3. さらなる減量が求められるごみ種
 (1) **焼却ごみ** (クリーンセンターの焼却処理能力および埋立量への影響が大きいため)
 (2) **破碎ごみ類** (クリーンセンターのリサイクル処理能力への影響が大きいため)
 (3) **陶器・ガラス類** (クリーンセンターのリサイクル処理能力および埋立量への影響が大きいため)
 ※推計の結果、台風の大規模多発化による増加傾向となっており、その分は減量対策が困難。
 目標値を設定する際には、その影響を除いた減量目標の目安としました。
 (4) **粗大ごみ** (クリーンセンターのリサイクル処理能力への影響が大きいため)

➡ これらは推計における増加率が高く、次期計画での施策のターゲットとしていく必要があります。

	令和元年度実績値		令和14年度推計値		
	総量(t)	1人1日あたり(g)	総量(t)	1人1日あたり(g)	増減率
全体の1人1日当たりのごみ量(A+B+C)	42,325	813.4	47,659	889.0	9.3%
①家庭系ごみの1人1日当たりのごみ量(A+B)	28,787	553.2	32,703	610.0	10.3%
②事業系ごみの1人1日当たりのごみ量(C)	13,538	260.2	14,957	279.0	7.2%
A: 家庭系ごみ	25,590	491.8	30,907	576.5	17.2%
焼却ごみ類	20,076	385.8	21,296	397.2	3.0%
プラスチック製容器類	1,005	19.3	946	17.6	-8.7%
ペットボトル類	301	5.8	418	7.8	34.9%
空き缶類	232	4.5	240	4.5	0.3%
飲・食料用ガラスびん類	686	13.2	59	1.1	-91.7%
破碎ごみ類	747	14.4	1,928	36.0	150.5%
陶器・ガラス類	306	5.9	620	11.6	96.3%
乾電池	23	0.4	25	0.5	8.1%
蛍光管	10	0.2	11	0.2	8.1%
粗大ごみ	1,117	21.5	4,650	86.7	304.2%
新聞・広告	334	6.4	170	3.2	-50.7%
雑誌・雑がみ	384	7.4	216	4.0	-45.3%
段ボール	369	7.1	329	6.1	-13.5%
B: 資源回収	3,197	61.4	1,795	33.5	-45.5%
段ボール	759	14.6	461	8.6	-41.0%
新聞・広告	1,492	28.7	758	14.1	-50.7%
雑誌・雑紙	737	14.2	405	7.6	-46.6%
繊維類	209	4.0	172	3.2	-20.3%
C: 事業系ごみ	13,538	260.2	14,957	279.0	7.2%
焼却ごみ類	13,531	260.0	14,949	278.8	7.2%
粗大ごみ	6	0.1	7	0.1	7.2%
焼却処理量	34,942	—	40,666	—	—
リサイクル処理量	3,164	—	7,682	—	—
③1人1日当たりのごみの埋立(最終)処分量	4,246	81.6	5,327	99.4	21.8%

	令和14年度の目標値の目安		
	総量(t)	1人1日あたり(g)	減量の目安
	39,183	730.9	-10.1%
	25,997	484.9	-12.3%
	13,186	246.0	-5.5%
A: 家庭系ごみ	24,202	451.4	-8.2%
焼却ごみ類	19,553	364.7	-5.5%
プラスチック製容器類	946	17.6	-8.7%
ペットボトル類	418	7.8	34.9%
空き缶類	240	4.5	0.3%
飲・食料用ガラスびん類	59	1.1	-91.7%
破碎ごみ類	770	14.4	0.0%
陶器・ガラス類	316	5.9	0.0%
乾電池	25	0.5	8.1%
蛍光管	11	0.2	8.1%
粗大ごみ	1,151	21.5	0.0%
新聞・広告	170	3.2	-50.7%
雑誌・雑がみ	216	4.0	-45.3%
段ボール	329	6.1	-13.5%
B: 資源回収	1,795	33.5	-45.5%
段ボール	461	8.6	-41.0%
新聞・広告	758	14.1	-50.7%
雑誌・雑紙	405	7.6	-46.6%
繊維類	172	3.2	-20.3%
C: 事業系ごみ	13,186	246.0	-5.5%
焼却ごみ類	13,179	245.8	-5.5%
粗大ごみ	7	0.1	7.2%
	34,063	—	—
	2,720	—	—
	4,242	79.1	-3.0%

人口
日数

令和元年度	142,169	366
令和14年度	146,880	365

✕ 超過

○ クリア

令和14年度時	
焼却施設処理能力	35,560
リサイクル施設処理能力	4,250
大阪湾フェニックスへの搬入計画量	4,242

目標の目安①

目標の目安②

ごみの減量が必要

令和元年度のごみ量を維持するための施策が必要
災害分を除き、令和元年度のごみ量を維持するための施策が必要

令和元年度のごみ量を維持するための施策が必要

ごみの減量が必要

目標の目安③